



今こそアベ政治の終焉を

9月5日、台風15号が千葉県を中心に大きな被害をもたらしていた時に、何もせず第4次安倍改造内閣が発足しました。去年6月28日から7月9日にかけて起こった平成30年7月豪雨（西日本豪雨）の時は、ノンキに「赤坂自民亭」などと仲間内ではしゃいでいた姿をネットにあげて悦にいつていたものです。

安倍政権は、国土強靱化を掲げていますが、口だけの「やっている感」に終わっています。

今回の改造内閣もやはりお友達や入閣待望組の在庫一掃です。それでもこの国が回っているように見えるのは、「有能」なブレインの存在と問題を隠蔽し、どうしてもいいことを入れるマスコミと、日々の暮らさに忙しい、政治に無関心な国民が見抜けぬおかげでしょうか。

そうした中、今度は台風19号が東日本を中心に史上最大級の被害をもたらしました。進路からかなり離れた高知県室戸市でも防波堤が高波で崩れる被害が出ています。前回と今回でも政府による初動活動が全然と云っていいほどされていません。それどころか二階幹事長は、「まあまあ被害だった」とア然とする話をしています（後に撤回）。本当にこの内閣の人たちは、国民の命や暮らしをどう思っているのでしょうか。

そして、またぞろ出てきたのが、大臣のスキャンダルです。菅原経済産業相はもう議員辞職するしかありません。その他の大臣も50歩100歩です。こんな内閣は許せません。ぜひ全国津々浦々から、安倍内閣打倒の声をあげていきましょう。

労働大学企画編集委員 池内 康宏